

令和5年度岡山県学力・学習状況調査
及び全国学力・学習状況調査
結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課
令和5年度版

目 次

【令和5年度岡山県学力・学習状況調査】	1
1 調査目的	3
2 調査対象者・実施日・調査の内容	3
3 学力調査結果	
(1) 各教科の結果	4～ 9
(2) 教科別の結果	10～14
4 児童生徒質問紙調査結果	
(1) 質問一覧	15
(2) 児童生徒質問紙の結果	16～17
【令和5年度全国学力・学習状況調査】	19
1 調査目的	21
2 調査対象者・実施日・調査の内容	21
3 学力調査結果	
(1) 各教科の結果	22～23
(2) 教科別の結果	24～29
4 児童生徒質問紙調査結果	
(1) 児童生徒質問紙調査の質問一覧	30～31
(2) 児童生徒質問紙の結果	32～33
5 学校質問紙調査結果	
(1) 質問一覧	34～35
(2) 学校質問紙の結果	36～37

学力調査の設問別結果データ、児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果資料は、校支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載しています。

【校務支援システム 掲載場所】

校支援>ライブラリ>040 指導課>2 学力向上>001 学力・学習状況調査結果
>令和5年度学力・学習状況調査設問別結果及び質問紙調査結果

令和5年度
岡山県学力・学習状況調査
結果報告書

令和5年度 岡山県学力・学習状況調査について

1 調査目的

児童生徒の学力及び学習の状況を把握・分析して指導の成果と課題を検証・改善するとともに、調査結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資する。

2 調査対象者・実施日・調査の内容

(1) 調査対象者

県内全公立小学校（岡山市を除く）・特別支援学校小学部に在籍する第3学年から第5学年の全児童及び県内全公立中学校（岡山市を除く）・中等教育学校・特別支援学校中学部に在籍する第1学年及び第2学年の全生徒を対象とする。

※特別支援学校及び特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- ・下学年の内容等に代替して指導を受けている児童生徒
- ・知的障害のある児童生徒に対する教科内容の指導を受けている児童生徒

倉敷市受検者数 () 内は岡山県内受検者数

※受検者数は各学年、教科により若干の違いあり。

【小学校】	小学3年生…	4,054人	(9,157人)
	小学4年生…	4,208人	(9,177人)
	小学5年生…	4,044人	(9,342人)
【中学校】	中学1年生…	4,057人	(9,602人)
	中学2年生…	3,835人	(9,227人)

(2) 実施日 令和5年4月18日（火）

(3) 調査の内容

【小学校】小学3年生…国語・算数

小学4年生…国語・算数

小学5年生…国語・算数・質問紙

【中学校】中学1年生…国語・数学・英語・質問紙

中学2年生…国語・数学・英語・質問紙

- ◆学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、前学年までの学習内容を出題範囲とする。
- ◆基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題する。
- ◆質問紙調査は、学習意欲・学習方法・学習環境・生活等に関する内容とする。

3 学力調査結果

・市と県及び全国との平均正答率の差については、小数第2位以降の数値が反映されているため、0.1%の差異が生じている場合がある。

・本調査は、希望する自治体や学校が実施。

・全国平均正答率は、全国、全ての小中学校の児童生徒の結果を反映している数字ではない。

※令和5年度全国受検者数

小学3年生 約7万人

小学4年生 約9万人

小学5年生 約11万人

中学1年生 約9万人

中学2年生 約10万人

(1) 各教科の結果

①平均正答率の推移（同学年で比較）【単位は%】

※平均正答率……一人一人の正答率（全体の設問のうち正答だった割合）を平均したもの

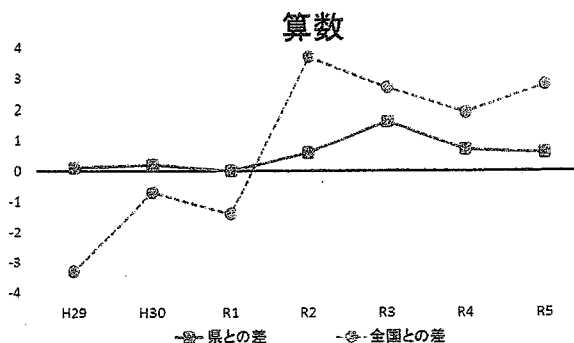
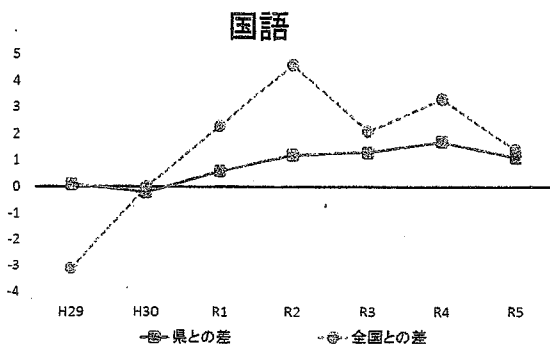
小学校

【小学3年生】

教科	国語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	77.2	75.8	75.9	76.6	74.2	70.4	74.0
岡山県平均	77.1	76.0	75.3	75.4	72.9	68.7	72.9
全国平均	80.3	75.8	73.7	72.0	72.1	67.1	72.5
岡山県との差	0.1	-0.2	0.6	1.2	1.3	1.7	1.1
全国との差	-3.1	0.0	2.3	4.6	2.1	3.3	1.4

教科	算数						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	73.4	73.7	73.1	75.3	78.2	75.9	77.4
岡山県平均	73.3	73.5	73.1	74.7	76.6	75.2	76.8
全国平均	76.7	74.4	74.5	71.6	75.5	73.9	74.6
岡山県との差	0.1	0.2	0.0	0.6	1.6	0.7	0.6
全国との差	-3.3	-0.7	-1.4	3.7	2.7	1.9	2.8

◆岡山県・全国との差の推移

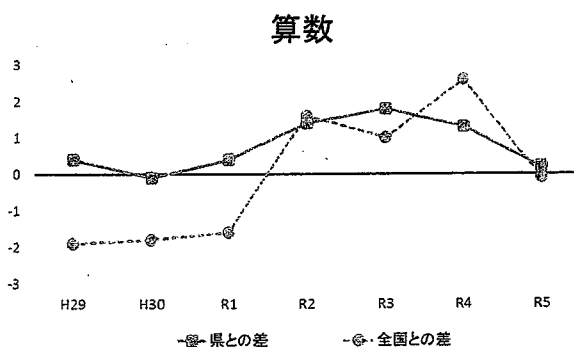
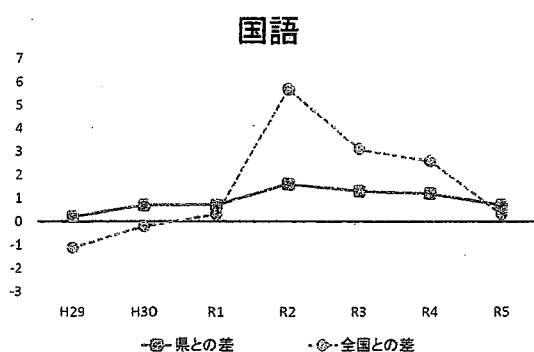


【小学4年生】

教科	国語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	70.0	69.4	68.4	70.2	72.4	70.6	71.1
岡山県平均	69.8	68.7	67.7	68.6	71.1	69.3	70.4
全国平均	71.1	69.6	68.1	64.5	69.3	68.0	70.8
岡山県との差	0.2	0.7	0.7	1.6	1.3	1.2	0.7
全国との差	-1.1	-0.2	0.3	5.7	3.1	2.6	0.3

教科	算数						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	75.5	74.6	73.0	74.3	71.9	75.7	71.7
岡山県平均	75.1	74.7	72.5	72.9	70.1	74.4	71.5
全国平均	77.4	76.4	74.6	72.7	70.9	73.1	71.9
岡山県との差	0.4	-0.1	0.4	1.4	1.8	1.3	0.2
全国との差	-1.9	-1.8	-1.6	1.6	1.0	2.6	-0.1

◆岡山県・全国との差の推移

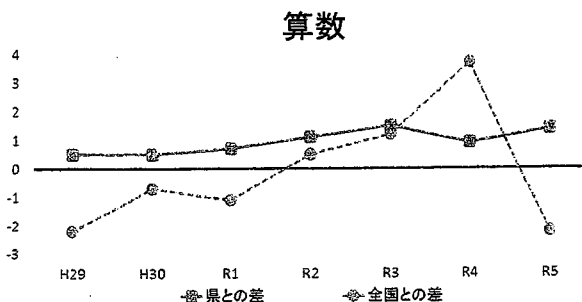
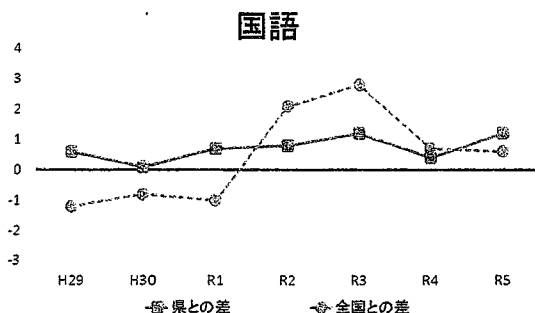


【小学5年生】

教科	国語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	75.0	72.1	72.8	71.2	70.6	68.7	70.6
岡山県平均	74.4	72.0	72.1	70.4	69.4	68.3	69.4
全国平均	76.2	72.9	73.8	69.1	67.8	68.0	70.0
岡山県との差	0.6	0.1	0.7	0.8	1.2	0.4	1.2
全国との差	-1.2	-0.8	-1.0	2.1	2.8	0.7	0.6

教科	算数						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	70.3	64.1	66.2	66.2	66.5	64.1	64.9
岡山県平均	69.8	63.6	65.5	65.1	65.0	63.2	63.5
全国平均	72.5	64.8	67.3	65.7	65.3	60.4	67.1
岡山県との差	0.5	0.5	0.7	1.1	1.5	0.9	1.4
全国との差	-2.2	-0.7	-1.1	0.5	1.2	3.7	-2.2

◆岡山県・全国との差の推移



①平均正答率の推移（同学年で比較）【単位は％】

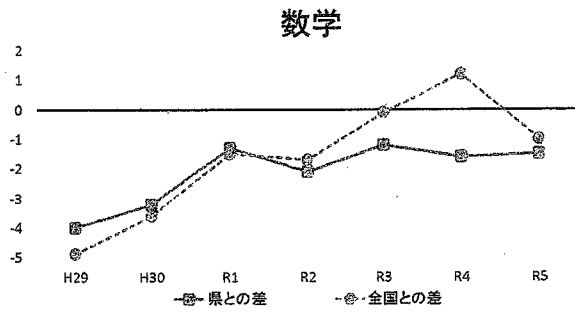
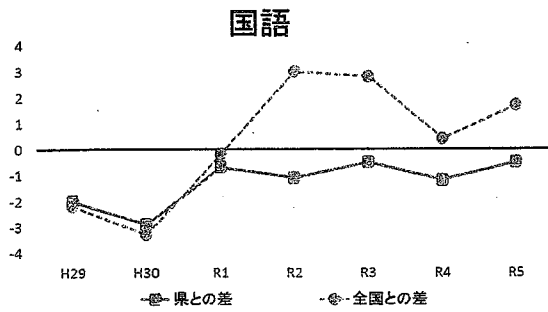
※平均正答率……一人一人の正答率（全体の設問のうち正答だった割合）を平均したもの

中学校

【中学1年生】

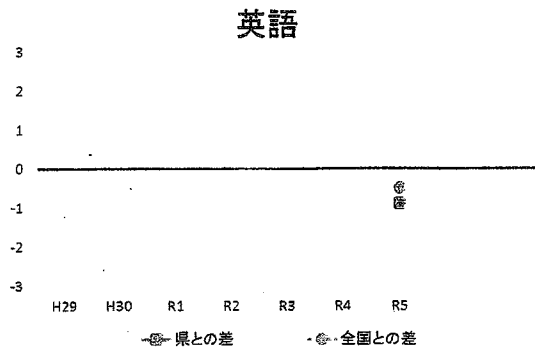
教科	国語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	71.3	59.4	70.1	66.4	74.2	57.7	60.9
岡山県平均	73.3	62.3	70.9	67.5	74.7	58.9	61.4
全国平均	73.5	62.7	70.4	63.4	71.4	57.3	59.2
岡山県との差	-2.0	-2.9	-0.7	-1.1	-0.5	-1.2	-0.6
全国との差	-2.2	-3.3	-0.2	3.0	2.8	0.4	1.7

教科	数学						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	63.4	69.2	70.4	64.9	68.1	70.4	64.8
岡山県平均	67.4	72.4	71.6	67.0	69.3	72.0	66.3
全国平均	68.3	72.8	71.9	66.6	68.2	69.2	65.8
岡山県との差	-4.0	-3.2	-1.3	-2.1	-1.2	-1.6	-1.5
全国との差	-4.9	-3.6	-1.5	-1.7	-0.1	1.2	-1.0



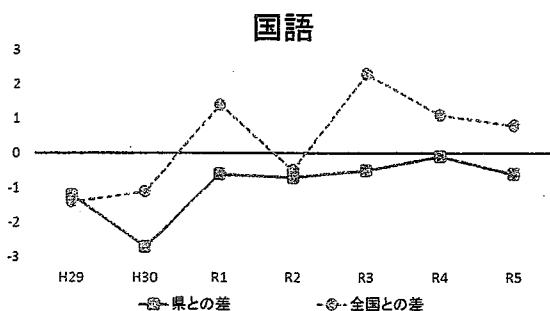
教科	英語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	—	—	—	—	—	—	82.1
岡山県平均	—	—	—	—	—	—	83.0
全国平均	—	—	—	—	—	—	82.7
岡山県との差	—	—	—	—	—	—	-0.9
全国との差	—	—	—	—	—	—	-0.5

◆岡山県・全国との差の推移

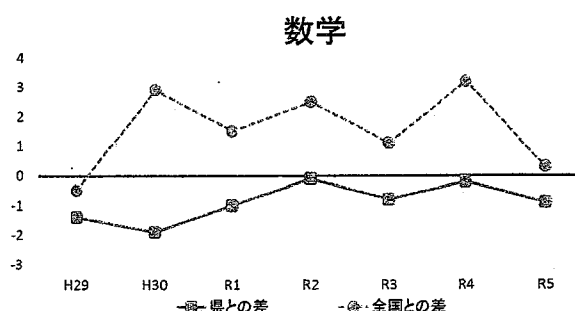


【中学2年生】

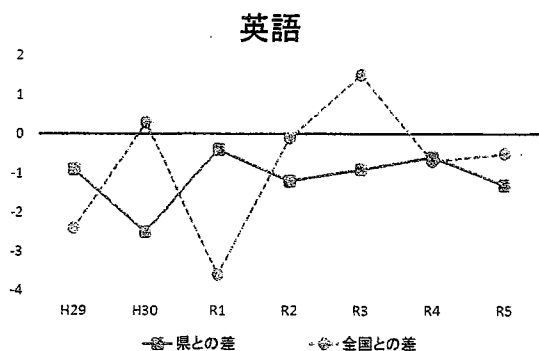
教科	国語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	69.0	63.1	67.8	72.6	70.8	67.8	64.7
岡山県平均	70.2	65.8	68.4	73.3	71.3	67.9	65.3
全国平均	70.4	64.2	66.4	73.1	68.5	66.7	63.9
岡山県との差	-1.2	-2.7	-0.6	-0.7	-0.5	-0.1	-0.6
全国との差	-1.4	-1.1	1.4	-0.5	2.3	1.1	0.8



教科	数学						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	57.9	61.0	55.2	59.1	59.7	59.8	53.7
岡山県平均	59.3	62.9	56.3	59.2	60.5	60.0	54.6
全国平均	58.4	58.1	53.7	56.6	58.6	56.6	53.4
岡山県との差	-1.4	-1.9	-1.0	-0.1	-0.8	-0.2	-0.8
全国との差	-0.5	2.9	1.5	2.5	1.1	3.2	0.3



教科	英語						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
倉敷市平均	58.9	51.9	58.0	62.6	56.0	55.2	45.6
岡山県平均	59.8	54.4	58.4	63.8	56.9	55.8	46.9
全国平均	61.3	51.6	61.5	62.7	54.5	55.9	46.1
岡山県との差	-0.9	-2.5	-0.4	-1.2	-0.9	-0.6	-1.3
全国との差	-2.4	0.3	-3.6	-0.1	1.5	-0.7	-0.5

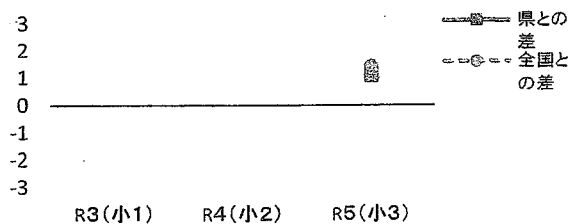


◆岡山県・全国との差の推移

②各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

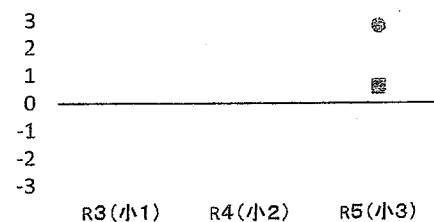
【A】小学3年生 国語

	R3(小1)	R4(小2)	R5(小3)
倉敷市			74.0
岡山県			72.9
全国			72.5
県との差			1.1
全国との差			1.4



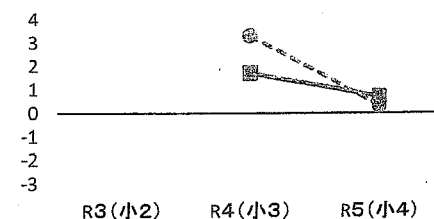
【B】小学3年生 算数

	R3(小1)	R4(小2)	R5(小3)
倉敷市			77.4
岡山県			76.8
全国			74.6
県との差			0.6
全国との差			2.8



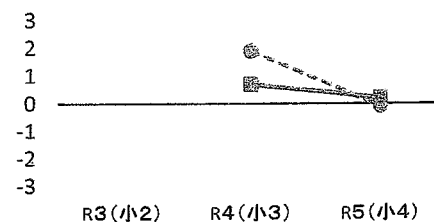
【C】小学4年生 国語

	R3(小2)	R4(小3)	R5(小4)
倉敷市		70.4	71.1
岡山県		68.7	70.4
全国		67.1	70.8
県との差		1.7	0.7
全国との差		3.3	0.3



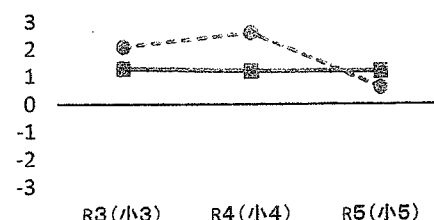
【D】小学4年生 算数

	R3(小2)	R4(小3)	R5(小4)
倉敷市		75.9	71.7
岡山県		75.2	71.5
全国		73.9	71.9
県との差		0.7	0.2
全国との差		1.9	-0.1



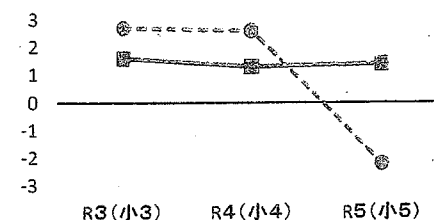
【E】小学5年生 国語

	R3(小3)	R4(小4)	R5(小5)
倉敷市	74.2	70.6	70.6
岡山県	72.9	69.3	69.4
全国	72.1	68.0	70.0
県との差	1.3	1.2	1.2
全国との差	2.1	2.6	0.6



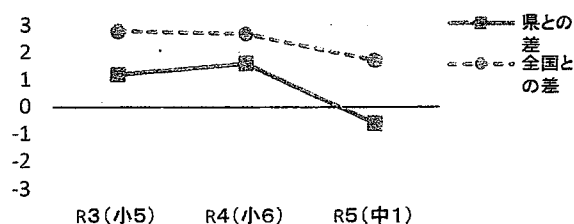
【F】小学5年生 算数

	R3(小3)	R4(小4)	R5(小5)
倉敷市	78.2	75.7	64.9
岡山県	76.6	74.4	63.5
全国	75.5	73.1	67.1
県との差	1.6	1.3	1.4
全国との差	2.7	2.6	-2.2



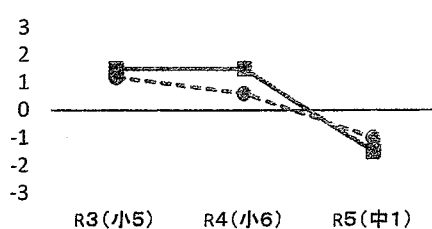
【G】中学1年生 国語

	R3(小5)	R4(小6)	R5(中1)
倉敷市	70.6	68.3	60.9
岡山県	69.4	66.7	61.4
全国	67.8	65.6	59.2
県との差	1.2	1.6	-0.6
全国との差	2.8	2.7	1.7



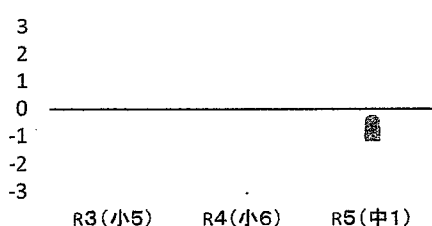
【H】中学1年生 数学

	R3(小5)	R4(小6)	R5(中1)
倉敷市	66.5	63.7	64.8
岡山県	65.0	62.2	66.3
全国	65.3	63.1	65.8
県との差	1.5	1.5	-1.5
全国との差	1.2	0.6	-1.0



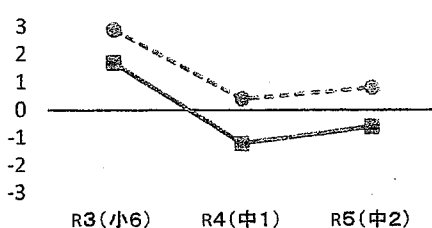
【I】中学1年生 英語

	R3(小5)	R4(小6)	R5(中1)
倉敷市			82.1
岡山県			83.0
全国			82.7
県との差			-0.9
全国との差			-0.5



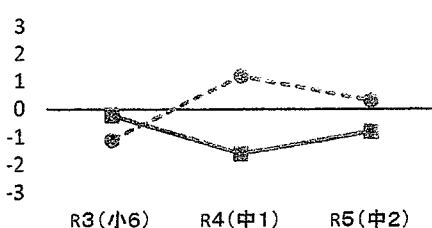
【J】中学2年生 国語

	R3(小6)	R4(中1)	R5(中2)
倉敷市	67.6	57.7	64.7
岡山県	65.9	58.9	65.3
全国	64.7	57.3	63.9
県との差	1.7	-1.2	-0.6
全国との差	2.9	0.4	0.8



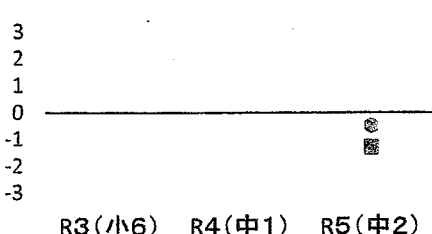
【K】中学2年生 数学

	R3(小6)	R4(中1)	R5(中2)
倉敷市	69.1	70.4	53.7
岡山県	69.3	72.0	54.6
全国	70.2	69.2	53.4
県との差	-0.2	-1.6	-0.8
全国との差	-1.1	1.2	0.3



【L】中学2年生 英語

	R3(小6)	R4(中1)	R5(中2)
倉敷市			45.6
岡山県			46.9
全国			46.1
県との差			-1.3
全国との差			-0.5



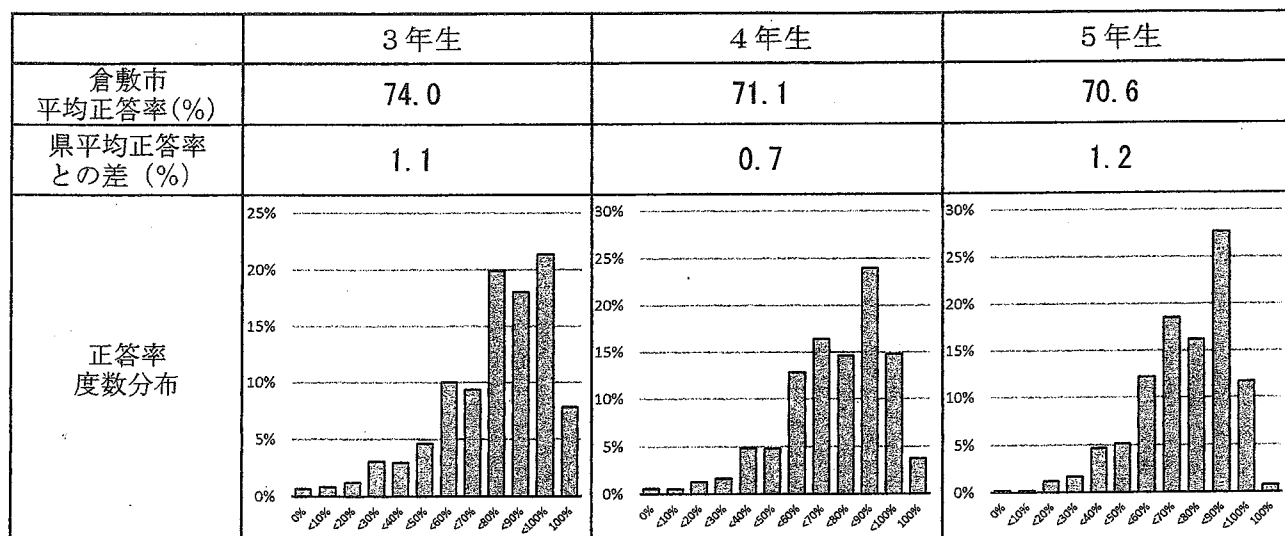
※R3(小6)、R4(小6)は、全国学力・学習状況調査の結果

※R5(中1)英語は、令和5年度から実施開始

(2) 教科別の結果

① 小学校 国語

ア 結果の概要



イ 県平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【県平均を上回った設問】

3年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+5.7
2	自分の思いや考えが明確になるように、文章を書いている。	書くこと	+5.1
3	経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書いている。	書くこと	+4.5

【県平均を下回った設問】

3年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	漢字の正しい筆順を理解している。(戸)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-2.2
2	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(かるい・おもい)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-0.8
3	第2学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。(毎通・まいしゅう)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-0.5

4年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	情報と情報との関係について理解し、考えとそれを支える事例との関係を明確にして書いている。	書くこと	+3.0
2	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+2.3
3	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。(写真)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	+2.1

4年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	漢字のへんやつくりを理解している。(係・にんべん)	我が国の言語文化に 関する事項	-1.7
2	主語と述語との関係について理解している。	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-0.8
3	文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	読むこと	-0.7

5年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。(希望)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	+5.1
2	内容の中心を明確にし、自分の考えの理由や具体的な事例を書いている。	書くこと	+4.7
3	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+4.6

5年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	読むこと	-0.9
2	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。(東・たば)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-0.5
3	漢字辞典の使い方を理解している。	情報の扱い方に 関する事項	-0.4

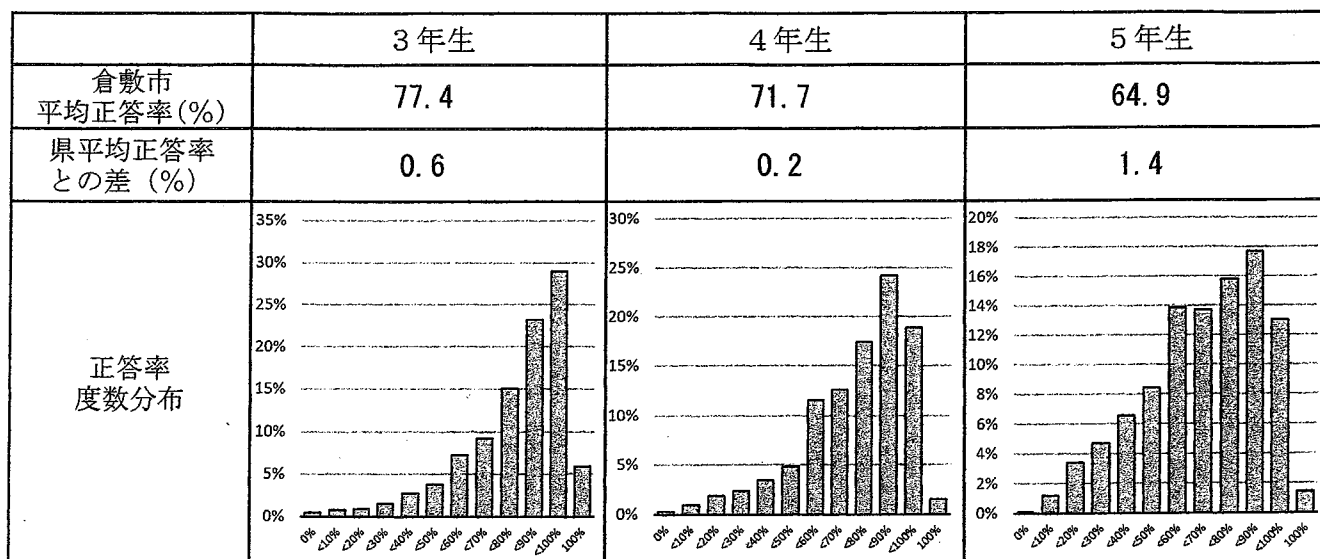
ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 「書くこと」の設問は、昨年度に引き続き、多くの設問で県平均正答率を上回っており、指導の成果が表れ、定着してきていることが推察される。
- 前学年の漢字を読む設問では、どの学年も平均正答率が90%以上であり、前学年の漢字を書く設問では、どの学年も県平均正答率を上回っている。
- 「読むこと」の設問は、概ね県平均正答率を上回っている。特に、説明文の読み取りのうち、情報の扱い方に
関する事項では、どの学年でも県平均正答率を上回っている。
- 言葉の特徴や使い方に
関する設問では、昨年度に引き続き課題が見られるため、その課題解決に向けた、授業の工夫や指導方法の改善が必要であると考えます。
- 漢字を書く設問の中には、平均正答率が60～70%台の設問もあることから、今後も継続的な指導の充実が求められる。

※各設問の結果データは、校支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載。

② 小学校 算数

ア 結果の概要



イ 県平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【県平均を上回った設問】

3 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解している。	数と計算	+3.5
2	基準となるテープの4倍の長さのテープを選ぶことができる。	数と計算	+3.1
3	減法逆の減法の文章問題を表した図の構造をとらえることができる。	数と計算	+2.3

4 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	口を使って、乗法の式に表している。	数と計算	+4.3
2	木のまわりの長さをはかるために、適切な計器を選ぶことができる。	測定	+2.2
3	整数・小数第一位の計算ができる。	数と計算	+2.1

5 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	小数第一位・小数第二位の計算ができる。	数と計算	+7.6
2	切り捨てて計算した結果が目的に合う理由を説明している。	数と計算	+7.0
3	伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことができる。	変化と関係	+5.2

【県平均を下回った設問】

3 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	方眼に長方形をかくことができる。	図形	-1.9
2	直方体の頂点の数を理解している。	図形	-1.4
3	数の相対的な大きさについて理解している。	数と計算	-1.1

4 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	m(ミリ)がついた単位を1000倍すると、m(ミリ)が取れることを説明している。	測定	-2.2
2	小数の相対的な大きさについて理解している。	数と計算	-1.6
3	分数の数直線上での表し方について理解している。	数と計算	-1.3

5 年生

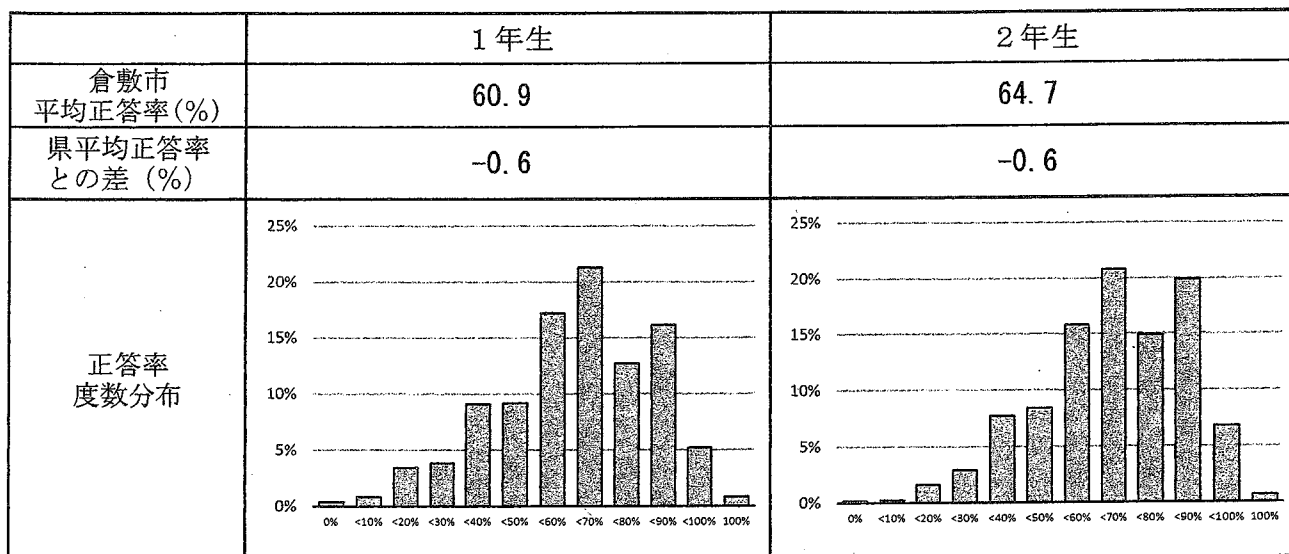
	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	帯分数+真分数=帯分数(繰り上がりあり)の同分母分数の計算ができる。	数と計算	-4.5
2	180度より大きい角の大きさを求めている。	図形	-2.0
3	直方体のある辺に平行な辺を理解している。	図形	-1.9

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 考えの理由を説明する問題については、全ての学年で県平均正答率を上回っていたことから、根拠を基に筋道を立てて考え、説明する活動の設定や指導方法の工夫など、下学年からの継続した指導の成果が表れていることが推察される。
- 「もとの大きさの1/4の大きさの意味の理解」を問われる問題については、令和4年度は県平均正答率を下回っていたが、本年度は上回っていたことから、指導の成果が表れていることが推察される。
- 「図形」の領域は、令和4年度に引き続き、本年度も全ての学年で県平均正答率を下回った設問があることから、低学年の段階から図形の概念の理解や性質、構成の仕方について考察することなど、系統を意識した指導の必要性が求められる。
- 数の相対的な大きさについての理解に関する問題も、令和4年度に引き続き、県平均正答率を下回っているため、数の概念についての確実な理解を図ることや、その表し方、数の性質についての考察の機会を意図的に設定するなど、指導の工夫が必要である。

③ 中学校 国語

ア 結果の概要



イ 県平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【県平均を上回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	小学校で学習した漢字を正しく書いている。(浴びる)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	+3.2
2	小学校で学習した漢字を正しく書いている。(清潔)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	+2.9
3	連用修飾語について理解している。(「上手に」が修飾する言葉を選ぶ)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	+2.1

2 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	単語について理解している。(1文を単語に分ける)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	+3.6
2	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。(話し合いの続きの内容を答える)	話すこと・聞くこと	+0.8
2	2段落構成で文章を書いている。	書くこと	+0.8

【県平均を下回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	小学校で学習した漢字を正しく書いている。(率いる)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	-9.1
2	小学校で学習した漢字を正しく読んでいる。(供える)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	-3.4
3	情報と情報との関係について理解し、集めた材料を分類して、伝えたいことを明確にしている。(疑問を解決するための情報を選択する過程を理解している)	書くこと	-1.6

2 年生

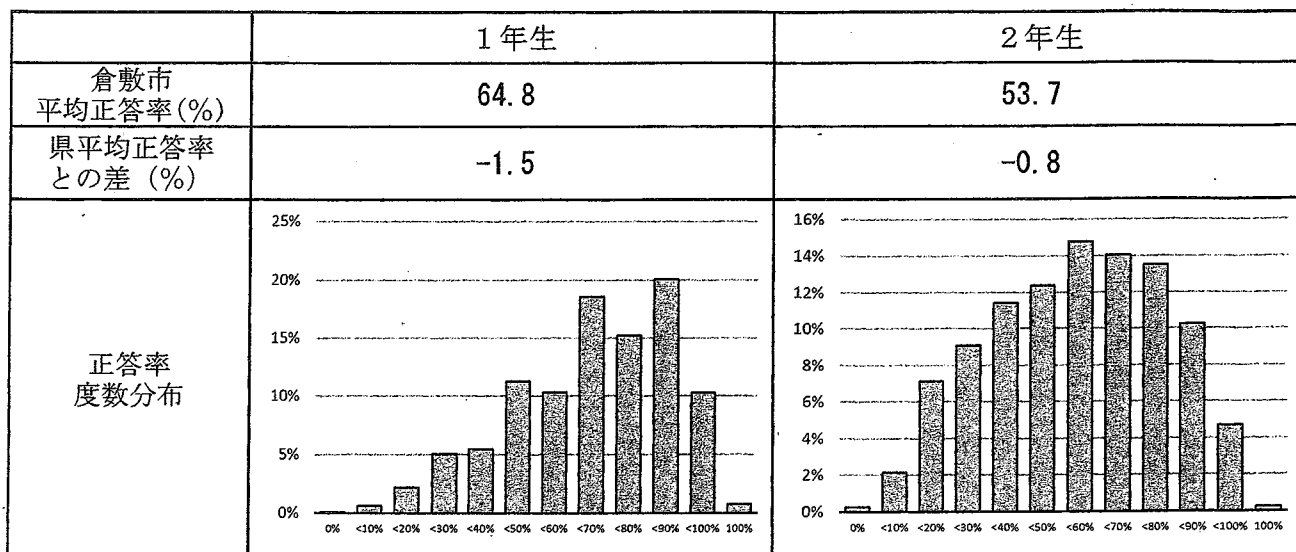
	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	小学校で学習した漢字を正しく書いている。(拝む)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	-6.6
2	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。(君臨)	言葉の特徴や使い方にに関する事項	-2.2
3	読み取った内容を明確に書いている。(条件: 第1段落には、AとBのポスターの特徴をそれぞれ書く)	書くこと	-2.0

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 中学1年生では、令和4年度に平均正答率27.5%であった連用修飾語に関する設問で、平均正答率が64.4%となっており、語句に関する指導の成果が見られる。
- 中学2年生では、令和4年度に引き続き、1文を単語に分ける設問で県平均正答率を大きく上回っており、中学1年生での学習が定着していると言える。
- 令和4年度第1学年で県平均正答率を大きく下回っていた話すこと・聞くことに関する設問で、令和5年度第2学年では県平均正答率を上回っており、話し合う活動を取り入れた授業改善の成果が見られる。
- 漢字に関しては、両学年とも設問によって平均正答率に差がある。初めて見る言葉であっても、音読みを組み合わせると正解にたどり着く等、既習事項の活用を促す指導の工夫が必要である。
- 書くことに関する設問では、両学年とも2段落構成で書く等の「型」には慣れているものの、条件を正確に理解し、それに沿った解答を書くことに課題が見られる。

④ 中学校 数学

ア 結果の概要



イ 県平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【県平均を上回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	円周の長さを求める式を選ぶことができる。	図形	+2.1
2	分数の除法の文章問題を表した図を読み取ることができる。	数と式 (数と計算)	+1.5
3	百分率について理解し、割引後の値段を求める式を選ぶことができる。	変化と関係	+1.1

【県平均を下回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値をもとめることができる。	数と式 (数と計算)	-6.7
2	4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	データの活用	-4.9
3	3色のビーズをつなげる順序が何通りあるかを求めることができる。	データの活用	-3.9

2 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	ヒストグラムから階級の幅を読み取ることができる。	データの活用	+4.2
2	絶対値と数の大小について理解している。	数と式	+1.4
3	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	数と式	+0.8

2 年生

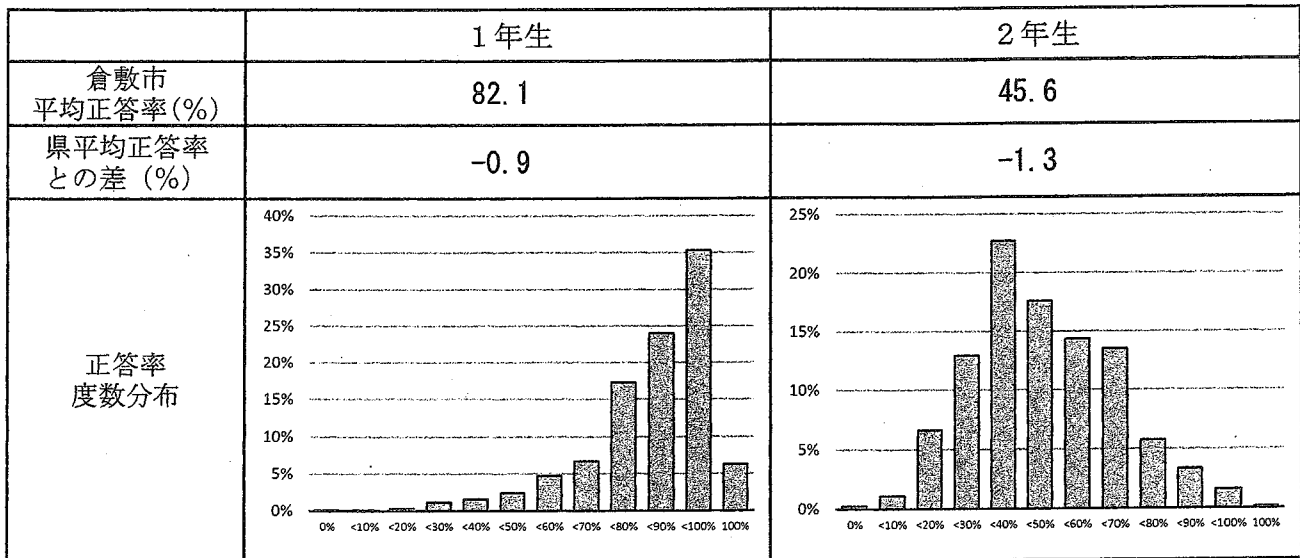
	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	関数について理解している。	関数	-3.9
2	ある傾向が強いと思われる一方を選び、その理由を2つの相対度数の折れ線から読み取った傾向をもとに説明することができる。	データの活用	-3.6
3	全体の中での1つの記録の位置を判断するための根拠となる値を選ぶことができる。	データの活用	-3.3

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 中学1年生では、県平均正答率との差が-3%以上の設問が、令和4年度は7問であったのに対し、令和5年度は4問と減っており、全体として改善傾向が見られる。
- 中学2年生では、令和4年度に引き続き、「正の数・負の数」「1次方程式」の問題の多くが、県平均正答率を上回っており、継続的な指導により定着が図られていることがうかがえる。
- 中学1年生の「平均・場合の数」の設問、2年生の「データの分布の傾向」の設問で県平均正答率を大きく下回っており、「データの活用」の領域に課題が見られる。
- 中学1年生、2年生ともに、「比例・反比例」の設問の多くが県平均正答率を下回っており、「関数」の領域は、ここ数年の課題である。
- 正答率度数分布から、平均正答率が50%未満の生徒の割合が、中学1年生は約25%、中学2年生は約43%と高く、数学を苦手としている生徒に合わせた授業の進め方を考える必要がある。

⑤ 中学校 英語

ア 結果の概要



イ 県平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【県平均を上回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	身近で簡単な事柄についての英文を聞き、その内容を理解している。(時刻と日課)	聞くこと	+2.1
2	部活動についての対話を聞き、概要を捉えている。	聞くこと	+0.8
2	小学校の思い出についての話を聞き、概要を捉えている。	聞くこと	+0.8

【県平均を下回った設問】

1 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測している。(探しものの場面)	聞くこと	-3.3
2	身近で簡単な語句を聞き、その意味を理解している。(季節)	聞くこと	-2.8
3	音声で十分に慣れ親しんだ、英語で書かれた語句の意味を理解している(身の回りのもの)	読むこと	-2.5

2 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	英文の情報を読み取り、その内容を理解している。	読むこと	+1.9
2	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の過去の否定文)	読むこと	+0.9
3	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(疑問詞who)	読むこと	+0.8

2 年生

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いている。	書くこと	-5.2
2	対話の内容を聞き取り、適切に回答している。(何をしたかとたずねられて)	聞くこと	-4.1
3	自分の町の有名なものについて、まとまった内容で紹介する英文を相手に伝えるように書いている。	書くこと	-3.3

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 「聞くこと」に関して、日常会話の理解や、会話全体の理解を問う設問の多くが県及び全国平均正答率を上回っており、知識・技能及び思考・判断・表現力を習得するための継続した指導の成果が表れている。
- 「読むこと」に関して、語彙や語形・語法の理解を問う設問の多くが県平均正答率を上回っており、知識・技能の習得に重点をおいた指導の成果が表れている。
- 「聞くこと」に関して、日常生活に関する対話を聞き、目的や場面・状況などを推測して回答する設問に課題が見られることから、引き続き言語活動において、「聞き手」や「目的」を意識した言語活動の充実が求められる。
- 場面や情報に基づいて書く英作文や、まとまった内容を紹介する英作文では、課題が見られるため、引き続き言語活動においてコミュニケーションの目的・場面・状況を設定したり、自分の考えや気持ちを表現したりする言語活動等の質的・量的な充実が求められる。

4 児童生徒質問紙調査結果

(1) 質問一覧

番号	質問
1	(1) 学校に行くのは楽しいと思う。
	(2) 自分には、よいところがあると思う。
	(3) 家の人はあなたのよいところを認めてくれていると思う。
	(4) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
	(5) 将来の夢や目標を持っている。
	(6) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
	(7) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
	(8) 人が困っているときは、進んで助けている。
	(9) 人の役に立つ人間になりたいと思う。
2	(10) 朝食を毎日食べている。
	(11) 家の人と将来のことについて話をしますか。
	(12) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
	(13) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
	(14) 宿題以外の自主的な学習に、週に何回ぐらい取り組んでいますか。
	(15) 学習塾の先生や家庭教師の先生に勉強を教わっていますか。
	(16) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
	(17) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
	(18) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。
	(19) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。
	(20) 学校に行く日は、1日何時間くらい睡眠をとりますか。
	(21) 自分が住んでいる地域が好きである。
	(22) 今住んでいる地域の行事に参加している。
	(23) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
3	(24) 国語の授業の内容はよく分かる。
	(25) 算数（数学）の授業の内容はよく分かる。
	(26) 英語の勉強は好きだ。
	(27) 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
	(28) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
	(29) 授業で学んだことを、他の学習に生かしている。
	(30) 学習したことが自分の生活に役立っている。
	(31) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。
	(32) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
	(33) 授業では、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができていた。
4	(34) 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた。
	(35) 授業の最後に学習を振り返る活動をよく行っていた。
	(36) 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
	(37) 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
	(38) 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
	(39) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていましたか。
	(40) 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていましたか。
	(41) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていましたか。
	(42) 学校で行われる補充学習に、どのくらい参加していましたか。

※抽出した質問（グレー色で強調している設問）について、16、17ページで結果を示している。

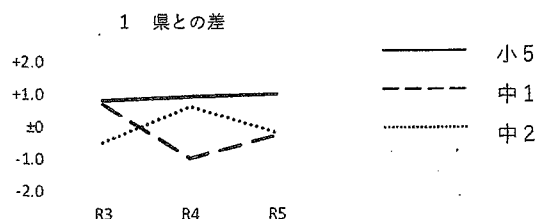
※抽出した質問以外の結果データは、校支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載。

(2) 児童生徒質問紙の結果

1 (1) 学校に行くのは楽しいと思う。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

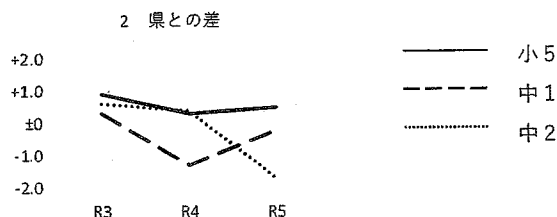
県との差				県との差			
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	90.0%	89.0%	+1.0	小5	+0.8	+0.9	+1.0
中1	92.8%	93.1%	-0.3	中1	+0.7	-1.0	-0.3
中2	87.6%	87.8%	-0.2	中2	-0.5	+0.6	-0.2



1 (2) 自分には、よいところがあると思う。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

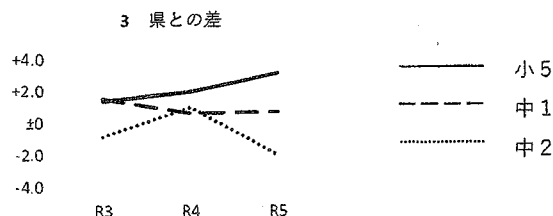
県との差				県との差			
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	81.9%	81.4%	+0.5	小5	+0.9	+0.3	+0.5
中1	82.1%	82.3%	-0.2	中1	+0.3	-1.3	-0.2
中2	79.7%	81.4%	-1.7	中2	+0.6	+0.4	-1.7



2 (16) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）

1時間以上学習すると回答した児童生徒の割合

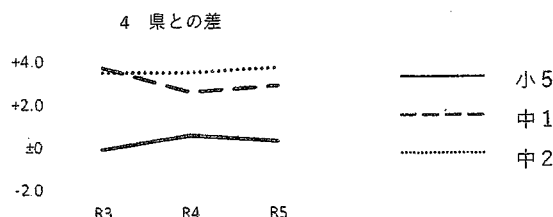
県との差				県との差			
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	59.5%	56.3%	+3.2	小5	+1.4	+2.0	+3.2
中1	63.4%	62.7%	+0.7	中1	+1.5	+0.6	+0.7
中2	56.1%	58.1%	-2.0	中2	-0.9	+1.0	-2.0



2 (18) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含まれます。）をしますか。

1時間以上ゲームをすると回答した児童生徒の割合

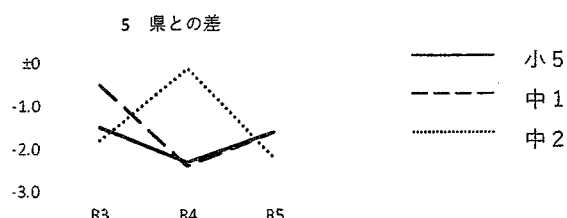
県との差				県との差			
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	76.0%	75.7%	+0.3	小5	-0.1	+0.6	+0.3
中1	81.9%	79.0%	+2.9	中1	+3.7	+2.6	+2.9
中2	80.7%	77.0%	+3.7	中2	+3.5	+3.5	+3.7



4（34）授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

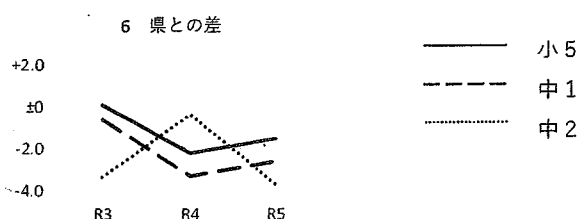
県との差							
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	84.0%	85.6%	-1.6	小5	-1.5	-2.3	-1.6
中1	90.5%	92.1%	-1.6	中1	-0.5	-2.4	-1.6
中2	91.1%	93.3%	-2.2	中2	-1.8	-0.1	-2.2



4（35）授業の最後に学習を振り返る活動をよく行っていた。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

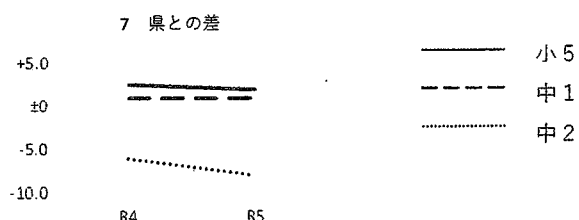
県との差							
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	73.6%	75.1%	-1.5	小5	+0.1	-2.2	-1.5
中1	79.4%	82.0%	-2.6	中1	-0.6	-3.3	-2.6
中2	78.3%	82.0%	-3.7	中2	-3.4	-0.4	-3.7



4（38）授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。

「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合

県との差							
R5	市	県	差		R3	R4	R5
小5	23.5%	21.6%	+1.9	小5	-	+2.5	+1.9
中1	41.1%	40.2%	+0.9	中1	-	+0.9	+0.9
中2	18.9%	26.9%	-8.0	中2	-	-6.1	-8.0



【考察】 ○成果 ●課題

○●「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた」や「授業の最後に学習を振り返る活動をよく行っていた」の問いでは、小学5年生及び中学1年生で、令和4年度に比べ肯定的な回答の割合が増えており、「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた学習指導の実践が進んでいると推察される。しかし、どの学年も県平均よりは下回っており、さらなる推進が課題であると考え。

○「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の問いでは、小学5年生で、県平均を3%以上上回っている。

●「授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか」の問いでは、中学2年生で県平均に比べ8%下回っており、1人1台端末を有効に活用した学習の指導方法を検討することが、今後の課題であると考え。

令和5年度
全国学力・学習状況調査
結果報告書

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象者・実施日・調査の内容

(1) 調査対象者

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

※特別支援学校及び小学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- ・下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
- ・知的障がいのある児童生徒に対する教科内容の指導を受けている児童生徒

	倉敷市受検者数 (受検校数)	岡山県受検者数 (受検校数)	全国受検者数 (受検校数)
小学6年生	4,275人 (61校)	15,462人 (365校)	964,350人 (18,619校)
中学3年生	3,948人 (26校)	14,527人 (155校)	893,528人 (9,339校)

(2) 実施日 令和5年4月18日(火)

(3) 調査の内容

①教科に関する調査

小学校…国語・数学

中学校…国語・数学・英語

◆知識・技能等と、それを活用する力等に関わる内容を一体的に問う

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)
- ・学校に対する調査(学校質問紙)

3 学力調査結果

(1) 各教科の結果

①平均正答率の比較（同学年で比較）【単位は%】

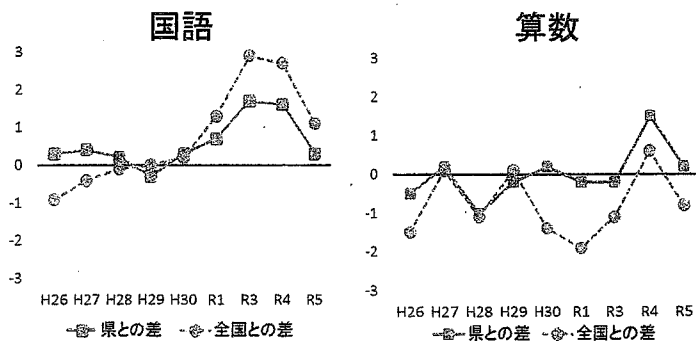
※平均正答率……一人一人の正答率（全体の設問のうち正答だった割合）を平均したもの

- ・令和元年度から、A問題（知識）、B問題（活用）を区別せず一体的に出題されるようになったことから、平成26年度～平成30年度の平均正答率についても、A問題とB問題を区別せず各教科ごとの値を示している。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっている。

【小学6年生】

教科 年度	国語										算数									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5		
倉敷市平均	63.3	67.3	65.3	66.2	62.9	65.1	67.6	68.3	68.3	66.7	60.2	61.3	62.4	56.1	64.7	69.1	63.7	61.7		
岡山県平均	63.0	66.9	65.1	66.5	62.6	64.4	65.9	66.7	68.0	67.2	60.0	62.3	62.6	55.9	64.9	69.3	62.2	61.5		
全国平均	64.2	67.7	65.4	66.2	62.7	63.8	64.7	65.6	67.2	68.2	60.1	62.4	62.3	57.5	66.6	70.2	63.1	62.5		
岡山県との差	0.3	0.4	0.2	-0.3	0.3	0.7	1.7	1.6	0.3	-0.5	0.2	-1.0	-0.2	0.2	-0.2	-0.2	1.5	0.2		
全国との差	-0.9	-0.4	-0.1	0.0	0.2	1.3	2.9	2.7	1.1	-1.5	0.1	-1.1	0.1	-1.4	-1.9	-1.1	0.6	-0.8		

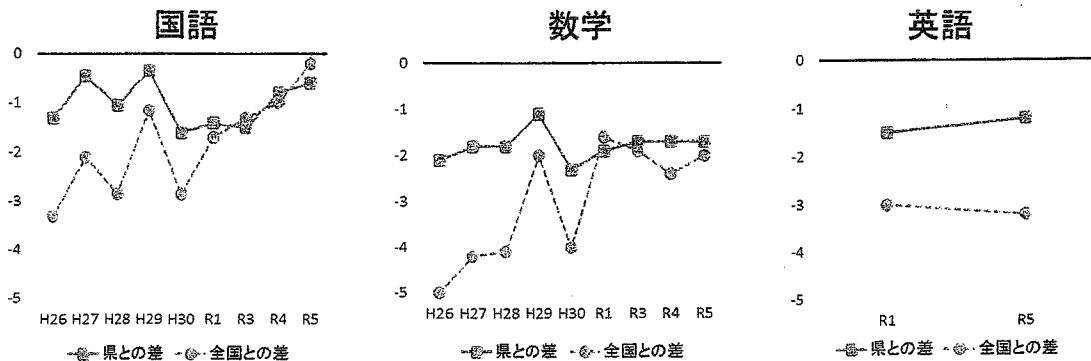
◆岡山県・全国との差の推移



【中学3年生】

教科 年度	国語										数学										英語	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5			R1	R5
倉敷市平均	61.9	68.7	68.2	73.7	65.8	71.1	63.3	68.0	69.6	58.6	48.8	49.1	54.4	52.5	58.2	55.3	49.0	49.0	52.9	42.4		
岡山県平均	63.2	69.2	69.3	74.0	67.4	72.5	64.8	68.8	70.2	60.7	50.6	50.9	55.5	54.8	60.1	57.0	50.7	50.7	54.4	43.6		
全国平均	65.2	70.8	71.1	74.8	68.7	72.8	64.6	69.0	69.8	63.6	53.0	53.2	56.4	56.5	59.8	57.2	51.4	51.0	55.9	45.6		
岡山県との差	-1.3	-0.5	-1.1	-0.3	-1.6	-1.4	-1.5	-0.8	-0.6	-2.1	-1.8	-1.8	-1.1	-2.3	-1.9	-1.7	-1.7	-1.7	-1.5	-1.2		
全国との差	-3.3	-2.1	-2.8	-1.2	-2.9	-1.7	-1.3	-1.0	-0.2	-5.0	-4.2	-4.1	-2.0	-4.0	-1.6	-1.9	-2.4	-2.0	-3.0	-3.2		

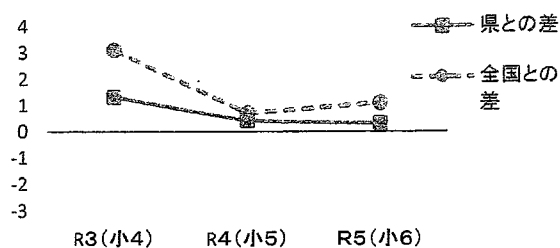
◆岡山県・全国との差の推移



②各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

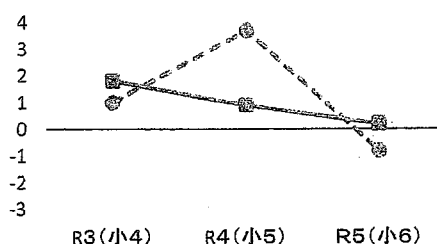
小学6年生 国語

	R3(小4)	R4(小5)	R5(小6)
倉敷市	72.4	68.7	68.3
岡山県	71.1	68.3	68.0
全国	69.3	68.0	67.2
県との差	1.3	0.4	0.3
全国との差	3.1	0.7	1.1



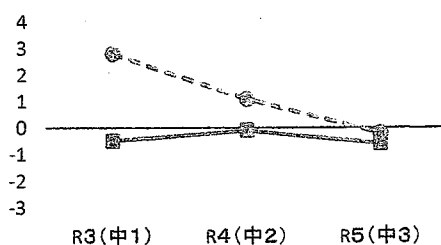
小学6年生 算数

	R3(小4)	R4(小5)	R5(小6)
倉敷市	71.9	64.1	61.7
岡山県	70.1	63.2	61.5
全国	70.9	60.4	62.5
県との差	1.8	0.9	0.2
全国との差	1.0	3.7	-0.8



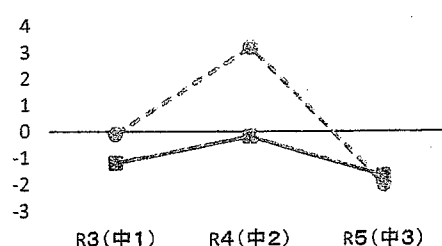
中学3年生 国語

	R3(中1)	R4(中2)	R5(中3)
倉敷市	74.2	67.8	69.6
岡山県	74.7	67.9	70.2
全国	71.4	66.7	69.8
県との差	-0.5	-0.1	-0.6
全国との差	2.8	1.1	-0.2



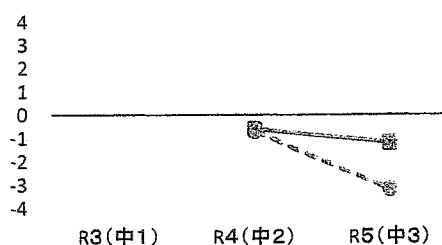
中学3年生 数学

	R3(中1)	R4(中2)	R5(中3)
倉敷市	68.1	59.8	49.0
岡山県	69.3	60.0	50.7
全国	68.2	56.6	51.0
県との差	-1.2	-0.2	-1.7
全国との差	-0.1	3.2	-2.0



中学3年生 英語

	R3(中1)	R4(中2)	R5(中3)
倉敷市	—	55.2	42.4
岡山県	—	55.8	43.6
全国	—	55.9	45.6
県との差	—	-0.6	-1.2
全国との差	—	-0.7	-3.2

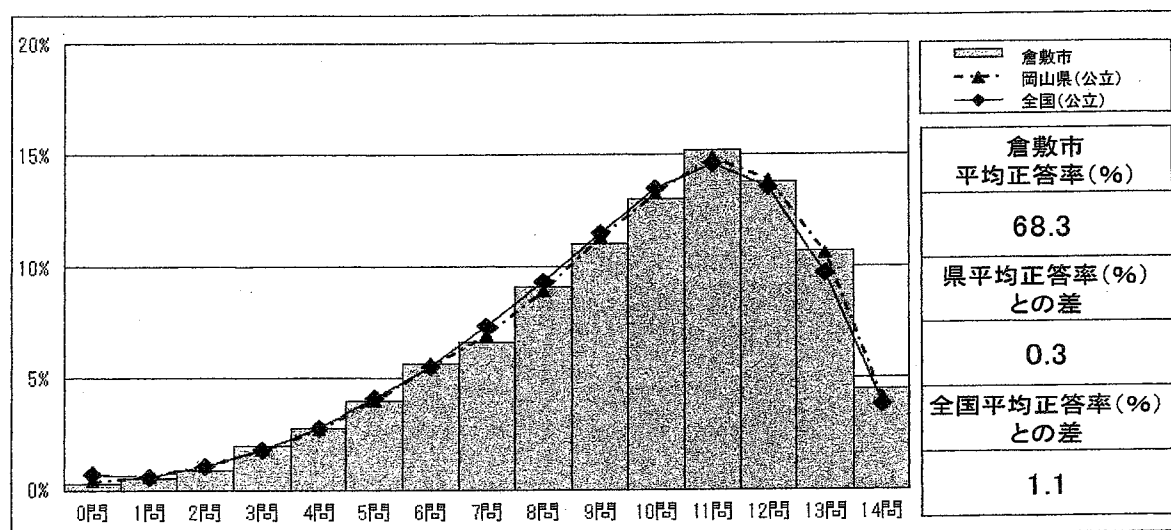


(2) 教科別の結果

① 小学校6年生 国語

ア 結果の概要

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 全国平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【全国平均を上回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	+1.7	+4.9
2	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に 関する事項	+1.4	+3.6
3	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	読むこと	+0.6	+2.7

【全国平均を下回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる(いがい・意外)	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-4.5	-4.6
2	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に 関する事項	-0.4	-0.5
3	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	情報の扱い方に 関する事項	-0.5	-0.4

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

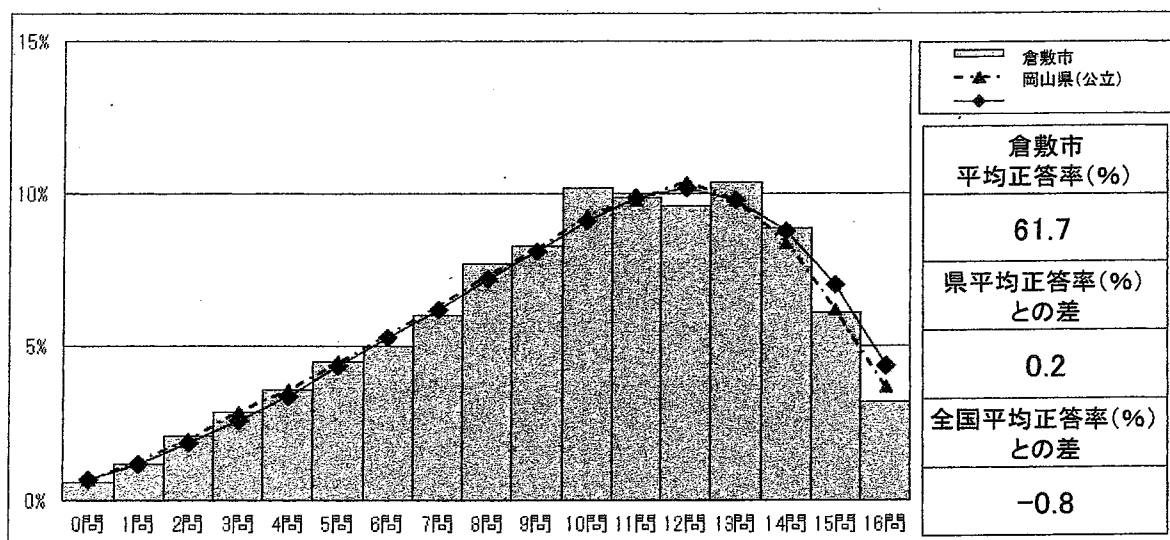
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の設問全てで、全国平均正答率を上回っており、国語科の授業改善が継続され、成果が表れていると言える。
- 「話すこと・聞くこと」に関する設問では、平均正答率が75%以上で、特に「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」の設問では、全国平均正答率を4.9%上回っており、「話すこと・聞くこと」の授業改善の成果が表れていると言える。
- 今年度出題された「情報の扱い方に関する事項」では、平均正答率が60%以上になっているものの、全国平均正答率と同等となっており、今後も継続的な指導が必要であると考えられる。
- 「言葉の特徴や使い方に
関する事項」の設問では、昨年度改善が見られ、今年度も平均正答率が70%程度となっているが、5問中3問が全国平均正答率を下回っており、今後も継続的な指導が求められる。

※各設問の結果データは、校支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載。

② 小学校6年生 算数

ア 結果の概要

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 全国平均正答率と比べて差が大きかった設問（特徴的な設問を抜粋）

【全国平均を上回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形	+4.2	+3.2
2	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	データの活用	+0.2	+0.3
3	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる	データの活用	+1.0	+0.2

【全国平均を下回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	図形	-3.0	-6.0
2	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形	-0.6	-3.0
3	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる	変化と関係	+0.7	-2.8

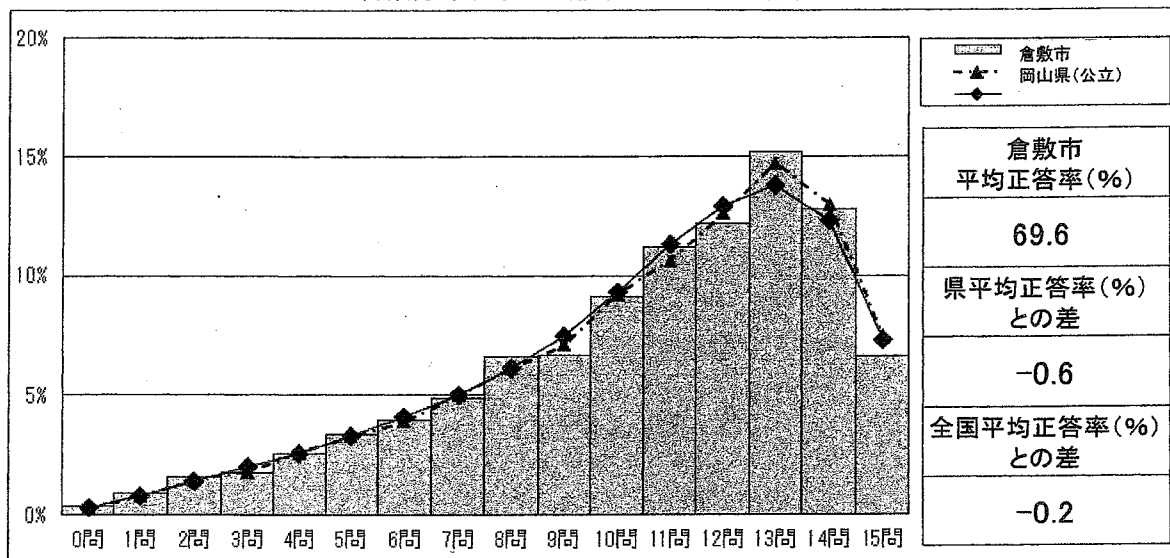
ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 平均正答率が80%を上回った設問数が、昨年度は16問中2問であったが、本年度は4問と前年度を上回る結果となった。特に、4問中2問は、「変化と関係」領域の設問で、昨年度より平均正答率が高くなっていることから、昨年度の課題を基にした授業改善の取組の成果が表れていると言える。
- 「データの活用」領域の設問については、昨年度は全国平均正答率を下回っている設問が多かったが、本年度は全ての設問において、上回る結果となった。表やグラフからデータの特徴や傾向を捉え、考察する学習活動を授業で取り入れるなど、指導の成果が表れていると言える。
- 「図形」領域の設問で、全国平均正答率との差が大きかった。特に、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する設問では、-6%と全国平均正答率を最も下回る結果となった。基本的な図形概念や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察したことを表現する場を設定するなど、指導方法を工夫する必要がある。

③ 中学校3年生 国語

ア 結果の概要

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 全国平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【全国平均を上回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	我が国の言語文化に関する事項	-0.2	+3.9
2	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	言葉の特徴や使い方に 関する事項	±0	+1.5
3	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	話すこと・聞くこと	+0.7	+1.1

【全国平均を下回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	書くこと	-1.7	-2.7
2	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	書くこと	-2.1	-2.3
3	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	読むこと	-1.4	-1.4

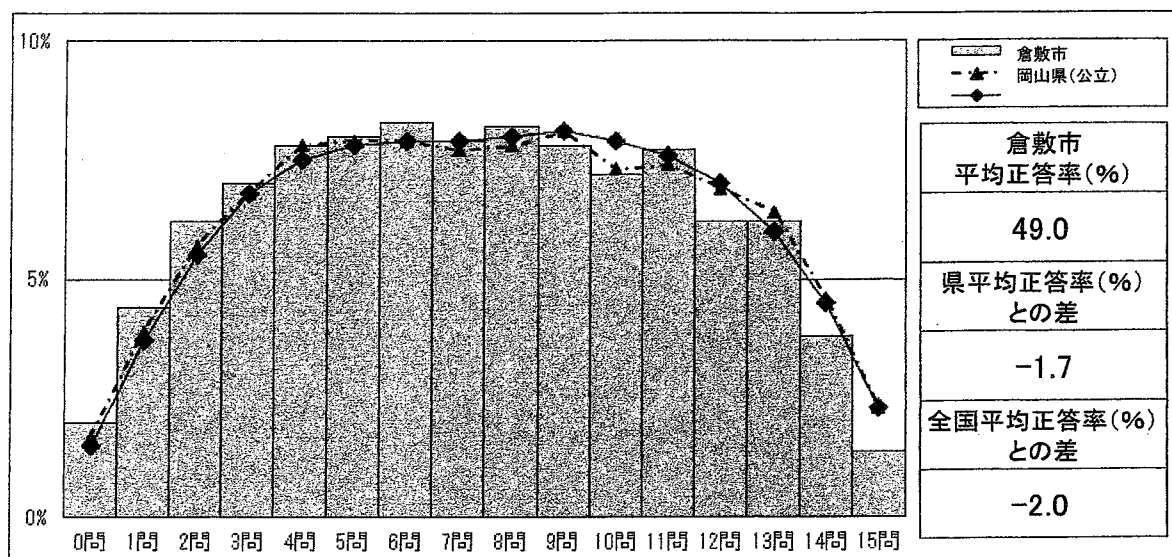
ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す設問では、全国平均正答率を3.9%上回った。今年度の中学2年生の県調査においても、同様の設問で倉敷市の平均正答率は9割を超えていることから、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む力は、全体的に定着していると言える。
- 「判じ絵」の解説の仕方を書く設問では、全国平均正答率を2.7%下回った。答えを考える上で参考となる【図2】に関する説明文の存在に気付くことができれば、ある程度「型」に沿った回答ができる。そのため、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く学習活動では、その答えに至った思考の過程を確認することで、気付いていないことへの気付きを促すことが期待できる。
- 文の一部を直す意図として適切なものを選択する設問では、全国平均正答率を2.3%下回った。「判じ絵」に「興味をもった」という事象と「判じ絵」を「詳しく調べることにした」という事象の関係が「原因」と「結果」であることに気付けない生徒が半数近くいた。学習活動の中で推敲を行う際には、なぜ表現を変える必要があるのか、意図を明確にするよう指導することが必要である。

④ 中学校3年生 数学

ア 結果の概要

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 全国平均正答率と比べて差が大きかった設問（特徴的な設問を抜粋）

【全国平均を上回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	数と式	±0	+0.9
2	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用	+0.2	+0.8
3				

【全国平均を下回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	図形	-3.2	-4.9
2	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる	図形	-3.1	-4.0
3	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる	関数	-1.6	-3.3

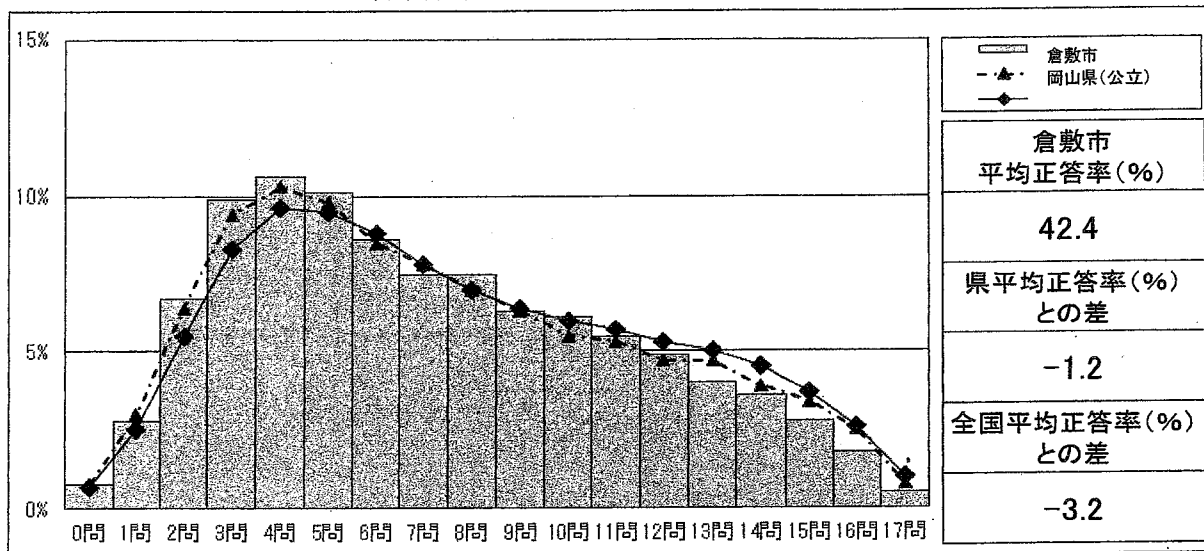
ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 累積度数の意味を理解しているかどうかをみる設問で、全国及び県平均正答率を上回った。この設問を含め、「データの活用」領域の設問は、他の領域に比べ比較的良好な結果となっていることから、指標の意味を的確に押さえる工夫をするなど、授業の中で効果的な指導が行われた成果と考えられる。
- 全国平均正答率との差が4%以上下回った設問が、昨年度は4問であったのに対し、今年度は2問と減っており、丁寧な指導の成果が表れていると考えられる。
- 「図形」領域の設問の3問中2問が全国平均正答率と比較し、4%以上下回っていることから、図形の構成要素に着目し、その図形のもつ性質等を正しく理解することが不十分であると考えられる。
- 正答数分布グラフから、正答数の分布が幅広く分散しており、特に正答数の少ない生徒の割合が全国平均と比べて高いことから、数学の基礎・基本の定着が不十分であることが考えられる。また、このような分布が見られる場合は、一斉指導の効果が限定的になることが予想される。生徒の理解状況に応じて、教材や学習の進め方を工夫するなどの授業改善が求められる。

⑤ 中学校3年生 英語

ア 結果の概要

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 全国平均正答率と比べて差が大きかった設問(特徴的な設問を抜粋)

【全国平均を上回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	読むこと	+0.3	+0.6
2				
3				

【全国平均を下回った設問】

	出題のねらい	領域	県平均正答率との差	全国平均正答率との差
1	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	読むこと	-2.9	-7.7
2	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	聞くこと	-1.9	-7.3
3	未来表現(be going to)の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる	書くこと	-1.3	-4.5

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

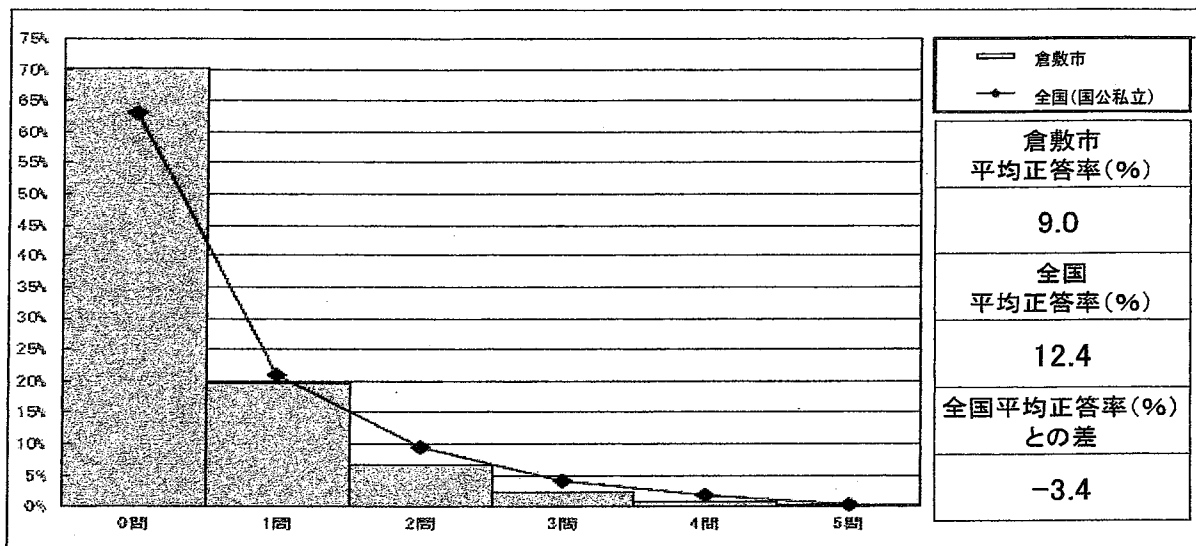
- 「読むこと」に関して、文と文との関係を正確に読み取ることができるかを問う設問が、全国及び県平均正答率を上回っており、知識・技能の習得に重点をおいた指導の成果が表れている。
- 「聞くこと」に関して、ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する設問に課題が見られることから、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の習得を念頭においた言語活動の充実が求められる。
- 「読むこと」に関して、事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する設問に課題が見られることから、「事実・情報を伝える」と、「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むなどの言語活動の充実が求められる。
- 「書くこと」に関して、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つように英文を完成させる設問に課題が見られるため、言語活動においてコミュニケーションの目的・場面・状況を設定したり、文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書いたりする言語活動の充実が求められる。

「話すこと」調査結果

ア 結果の概要

※英語「話すこと」調査の全国平均正答率は、4月18日当日実施分と4月19日～5月26日の期間内実施分を合算集計したもの。

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



イ 設問別の結果

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			倉敷市	全国	全国との 差	倉敷市	全国	全国との 差
1(1)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える	日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	13.0	19.0	-6.0	23.8	22.7	1.1
1(2)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、次の予定を伝える	未来表現 (be going to) を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	6.7	9.4	-2.7	16.9	18.1	-1.2
1(3)	動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する	疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	6.1	13.4	-7.3	19.3	19.4	-0.1
1(4)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、お土産としてふさわしいものとその理由を伝える	日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができるかどうかをみる	14.7	16.1	-1.4	16.5	17.8	-1.3
2	環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる	3.8	4.2	-0.4	17.2	18.8	-1.6

ウ 設問全体の結果から分かること ○成果 ●課題

- 無回答率に関して、全5設問中4設問が全国平均を上回っており、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に重点をおいた指導の成果が表れている。
- 設問1(1)及び設問1(3)に関して、基本的な表現や、文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる設問に課題が見られることから、言語活動においてコミュニケーションの目的・場面・状況を設定した上で、英語でやり取りする指導の一層の充実が求められる。さらに、文法事項や言語の働きなどを理解して実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の習得を念頭に置いた言語活動の充実が求められる。
- 設問2に関して、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる設問に課題が見られることから、社会的な話題に関して聞いたことを読んだりしたことに基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動等の充実が求められる。

4 児童生徒質問紙調査結果

(1) 質問一覧

設問番号		質問
小	中	
1	1	朝食を毎日食べていますか
2	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
3	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
4	4	自分には、よいところがあると思いますか
5	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
6	6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
7	7	将来の夢や目標を持っていますか
8	8	人が困っているときは、進んで助けていますか
9	9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
10	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
11	11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
12	12	学校に行くのは楽しいと思いますか
13	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
14	14	友達関係に満足していますか
15	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
16	16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
17	17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
18	18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
19	19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）
20	20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
21	21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか
22	22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
23	23	新聞を読んでいますか
24	24	読書は好きですか
	25	学校の部活動に参加していますか
	26	普段（月曜日から金曜日）、平均して何日学校の部活動に参加していますか
	27	学校の部活動で、普段（月曜日から金曜日）活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか
	28	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか
25	29	今住んでいる地域の行事に参加していますか
26	30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
27	31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか
28	32	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
29	33	前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
30	34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
31	35	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）
32	36	これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
33	37	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
34	38	前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
35	39	前年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
36	40	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
37	41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
38	42	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか
39	43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
40	44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
41	45	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
42	46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
43	47	国語の勉強は好きですか

設問番号		質問
小	中	
44	48	国語の勉強は大切だと思いますか
45	49	国語の授業の内容はよく分かりますか
46	50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
47		国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか
48		国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか
49		国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか
50		国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか
	51	行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いていますか
	52	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか
	53	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか
	54	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか
51	55	算数（数学）の勉強は好きですか
52	56	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか
53	57	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
54	58	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
55	59	英語の勉強は好きですか
56	60	英語の勉強は大切だと思いますか
	61	英語の授業の内容はよく分かりますか
	62	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
57	63	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
58	64	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）
59	65	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声の聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか
	66	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
	67	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
	68	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか
	69	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
	70	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか
	71	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか
	72	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか

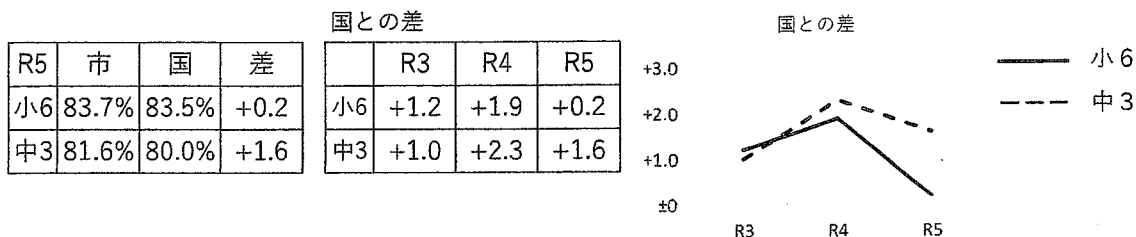
※抽出した質問（グレー色で強調している設問）について、32、33ページで結果を示している。

※抽出した質問以外の結果データは、校支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載。

(2) 児童生徒質問紙の結果

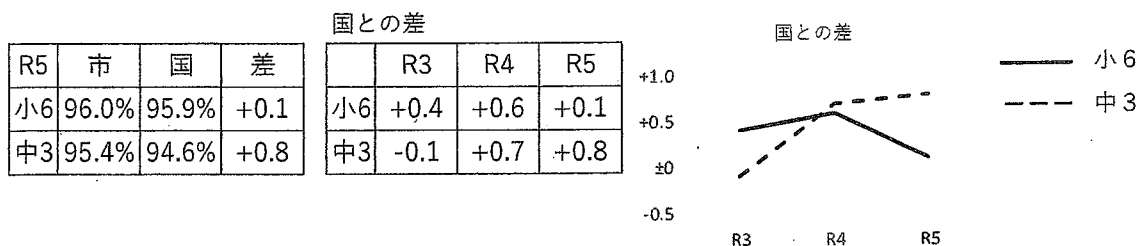
(4) 自分には、よいところがあると思いますか。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合



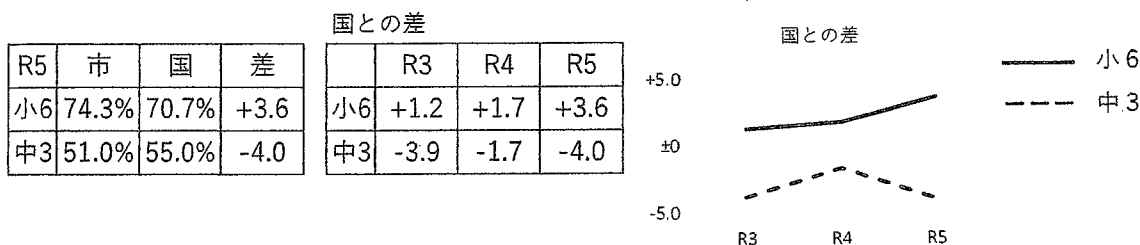
(11) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合



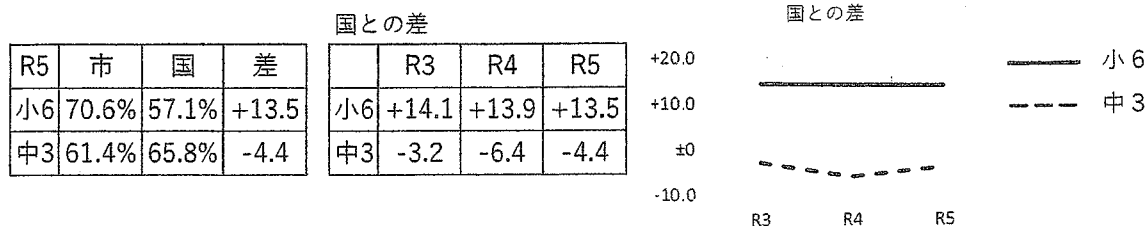
(16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む。)

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合



(17) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師やインターネット活用を含む。)

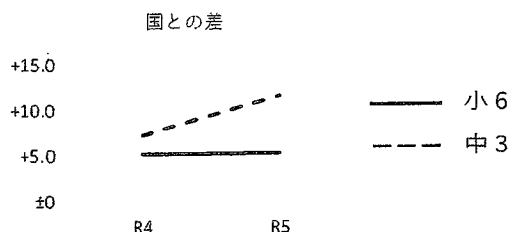
1時間以上学習すると回答した児童生徒の割合



小（２９）中（３３）前年度までに受けた授業で、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか。

週３日以上と回答した児童生徒の割合

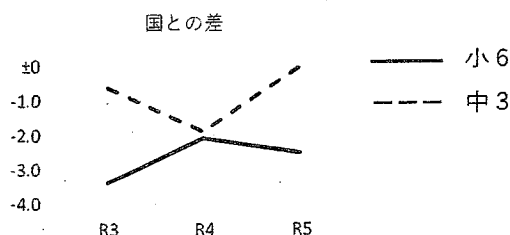
国との差				国との差			
R5	市	国	差		R3	R4	R5
小6	67.7%	62.4%	+5.3	小6	-	+5.2	+5.3
中3	72.7%	61.1%	+11.6	中3	-	+7.4	+11.6



小（３３）中（３７）前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

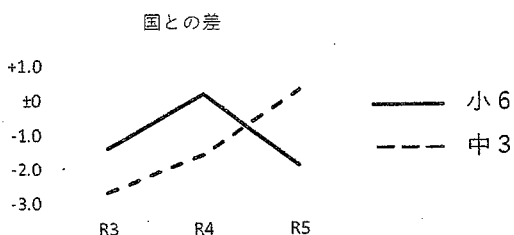
国との差				国との差			
R5	市	国	差		R3	R4	R5
小6	76.3%	78.8%	-2.5	小6	-3.4	-2.1	-2.5
中3	79.2%	79.2%	±0	中3	-0.6	-1.9	±0



小（３６）中（４０）学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

国との差				国との差			
R5	市	国	差		R3	R4	R5
小6	79.9%	81.8%	-1.9	小6	-1.4	+0.2	-1.9
中3	80.0%	79.7%	+0.3	中3	-2.7	-1.6	+0.3



【考察】 ○成果 ●課題

○「ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか」の問いでは、小学校・中学校ともに昨年度より肯定的な回答が昨年度より上昇し、全国の平均を上回っており、授業での１人１台端末の利活用が積極的に行われていることが推察される。

●家庭学習に関する質問では、中学校において、昨年度より肯定的な回答は上昇しているものの、それぞれの質問で全国との差は４％以上下回っており、家庭学習を習慣化する指導が必要であると考えられる。

5 学校質問紙調査結果

(1) 質問一覧

設問番号		質問
小	中	
8	8	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか
9	9	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
10	10	調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか
11	11	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか
12	12	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか
13	13	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
14	14	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか
15	15	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか
16	16	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか
17	17	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか
18	18	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか
19	19	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
20	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
21	21	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか
22	22	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか
23	23	児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ば校内研修を行っていますか
24	24	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）
25	25	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか（管理職を除く）
26	26	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
27	27	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか
28	28	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか
29	29	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
30	30	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか
31	31	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか
32	32	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか
33	33	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか
34	34	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか
35	35	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか
36	36	調査対象学年の児童生徒に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか
37	37	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか
38	38	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか
39	39	調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるように指導を行っていますか
40	40	調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか
41	41	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか
42	42	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか
43	43	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか
44	44	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか
45	45	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか
46	46	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
47	47	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか
48	48	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか
49	49	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか
	42	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書くことができるような指導を行いましたか
	43	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか
	44	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか
	45	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか

設問番号		質問
小	中	
	46	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
	47	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか
	48	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか
	49	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか
	50	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか
	51	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか
	52	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか
	53	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか
	54	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか
	55	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか
	56	英語担当教員とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか
	57	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか
50	58	英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会（イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等）をどの程度設けていますか
51	59	家庭学習の課題（宿題）として、児童生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか
52	60	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
53	61	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか
54	62	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか
55	63	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
56	64	調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
57	65	調査対象学年の児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
58	66	教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
59	67	調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
60	68	調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
61	69	前年度に、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童生徒が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか
62	70	教職員と家庭とで連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか
63	71	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか
64	72	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（1）不登校児童生徒に対する学習活動等の支援（2）特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援（3）外国人児童生徒に対する学習活動等の支援（4）児童生徒の心身の状況の把握（5）児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援
65	73	障害のある児童生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達段階等に応じた支援を実施しましたか
66	74	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）を行いましたか
67	75	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
68	76	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか
69	77	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか
70	78	職場見学を行っていますか／調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程行いましたか
71	79	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか
72	80	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか
73	81	小（72）中（80）の質問にあるような、保護者や地域の人の協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか
74	82	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか
75	83	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか
76	84	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
77	85	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かしましたか
78	86	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
79	87	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか
80	88	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）
81	89	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（1）運動会・競技会・球技会（2）音楽会・合唱コンクール（3）学芸会・文化祭（4）遠足（5）芸術鑑賞会（6）職場見学／職業体験活動（7）集団宿泊活動（修学旅行も含む）（8）授業参観・学校公開

※質問1～7は学校情報に関する質問のため省略。

※質問の結果データは、枝支援システムのライブラリ及び倉敷市教育委員会指導課HPに掲載。

(2) 学校質問紙の結果

小学6年生

【○成果と●課題】

○肯定的回答の割合が上昇した項目

(62)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか		
令和4年度	→	令和5年度	
63.3	+8.8	72.1	

(71)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	
令和4年度	→	令和5年度
76.7	+8.5	85.2

○肯定的回答の割合が高かった項目

(22)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか
100	

(78)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたが
100	

●肯定的回答の割合が下降した項目

(9)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか		
令和4年度	→	令和5年度	
95.0	-13.1	81.9	

(29)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか		
令和4年度	→	令和5年度	
80.0	-12.8	67.2	

●肯定的回答の割合が低かった項目

(67)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
45.9	

(68)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、共同で研修を行いましたか
24.6	

比較対象は令和4年度。単位はすべて%。

(80)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)		
	令和4年度	→	令和5年度
	78.4	+6.9	85.3

【考察】

ICT機器の活用が進んだことで、保護者や地域への情報発信や共有も促進されたものと思われる。

(79)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか
100	

【考察】

学力調査の分析等を基にして、授業研究や授業改善が継続的かつ積極的に実施できている。

(30)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	
令和4年度	→	令和5年度
96.6	-12.9	83.7

【考察】

児童の落ち着きの割合が下降したことで、グループでの活動が停滞する等の影響が出ていると思われる。

(69)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか
29.6	

【考察】

中学校区での連携に関する項目が依然として低く、今後中学校も含めた対策の検討が必要である。

中学3年生

【○成果と●課題】

○肯定的回答の割合が上昇した項目

(23)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか		
令和4年度	→	令和5年度	
65.4	+15.4	80.8	

(26)	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか		
	令和4年度	→ +15.4	令和5年度
	76.9		92.3

○肯定的回答の割合が高かった項目

(30)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか
100	

(41)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか。
100	

●肯定的回答の割合が下降した項目

(22)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか		
令和4年度	→	令和5年度	
96.1	-11.5	84.6	

(80)	保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか		
	令和4年度	→	令和5年度
	84.6	-11.5	73.1

●肯定的回答の割合が低かった項目

(70)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか
53.9	

(76)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか
34.6	

比較対象は令和4年度。単位はすべて%。

(27)	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか		
令和4年度	→	令和5年度	
73.0	+11.6	84.6	

【考察】

各校で課題解決型学習（PBL）についての理解が進み、探究的な学びが積極的に実践されている。

(87)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか
100	

【考察】

学力調査の分析等を基にして、授業研究や授業改善が継続的かつ積極的に実施できている。

(88)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)		
	令和4年度	→	令和5年度
	76.9	-7.7	69.2

【考察】

保護者や地域の人との連携強化のためにも、情報提供や説明等を充実していく必要がある。

(77)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか
30.8	

【考察】

小学校との連携について、昨年より改善したが低いままであり、小学校・中学校ともにメリットを感じられる連携のあり方の研究が必要である。

倉敷市教育委員会指導課 作成